

平成27年度 府立北桑田高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

| 学校経営方針（中期経営目標） | 前年度の成果と課題 | 本年度学校経営の重点（短期経営目標） |
|--|---|---|
| <p>1 時勢の変化と教育に対する社会的ニーズの推移に対応し、特色ある教育を創出する。</p> <p>2 基礎学力を身につけ、高校での学習を糧に将来の進路に向かって努力することのできる生徒の育成</p> <p>3 郷土の自然や文化に学び、前向きに地域社会とかかわろうとする姿勢をもつことのできる生徒の育成</p> | <p>1 美山・京北まちごとキャンパス（まちキャン）をはじめとする「学力向上フロンティア事業」における、地域との連携を踏まえた取組や体験活動により、生徒の学習意欲の高揚がみられたが、実際の学力向上につなぐ工夫が必要である。</p> <p>2 生徒の進路希望については、一定の希望実現ができた。さらに可能性を伸ばすためにも進路に対する興味・関心を高める必要がある。</p> <p>3 挨拶や言葉遣いなど社会人基礎力の基盤となる基本的な生活習慣について評価を得ているが、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に努める。</p> | <p>1 生徒の学びを支える、安全安心に基づいた信頼感のある学校づくりを進める。</p> <p>2 体験活動を重視した、計画的系統的なキャリア教育を進めるとともに、特別活動や部活動等、生徒活動の活性化を図り、活気に満ちた学校づくりを進める。</p> <p>3 学習意欲を喚起し、希望進路の実現に向けた確かな学力向上の取組を進める。</p> <p>4 家庭・地域等、社会の外部教育力を積極的に活用し、開かれた学校づくりを進める。</p> |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|------------|--|---|----|-------|
| 組織運営 | 計画的・組織的な運営 | 従来の枠組みをふまえながらも、柔軟に分掌間の連携や協働を図り、個々の課題を解決するためにより効果を高める組織体制を強化する。 | | |
| | 教職員の資質能力の向上 | 若手教職員の増加に対応して、職場内でのOJTを推進し、研修や相互に学び合う機会を増やし、若手教職員を育成することで、学校全体の指導力の向上を図る。 | | |
| 教育課程の編成と実施 | 全ての生徒が、「自信」と「誇り」を獲得できる学習活動の創意工夫 | 普通科、森林リサーチ科両学科について、シンプル、かつ、幅広い進路希望に応える教育課程を活かして、特色ある授業を行う。 | | |
| 学習指導 | 学習指導に関する学校評価・授業評価アンケートにおいて肯定的な意見を増加させる | 知的好奇心をくすぐる授業授業内容と授業規律の徹底を両立させた「授業から始まる生徒指導」の実践 教師が生徒を直接、指導助言する時間を倍増させるための教育計画の精選、教育環境の創出 | | |
| 進路指導 | 生徒一人一人を的確に把握した上での希望進路達成支援 | 実力テスト、模擬試験の分析を充実し、効果的な活用を図る。 学年・担任と連携して生徒個々に応じた進路指導を進める。 資格取得の推進や家庭学習の充実を図る。 | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|---------|---------------------------------|---|----|-------|
| 生徒指導 | 基本的生活習慣の確立と社会性・規範意識の養成 | 「挨拶」「時間を守る」「身だしなみを整える」といった当たり前のことが、ごく自然にできるようにする。 物事の善悪を正確に理解することで、正しい判断力を身につける。 規則違反やマナー違反・不正を許さず、生徒全員が気持ちよく生活できる学校を目指す。 | | |
| | 心身の健全な成長発達をめざした安全教育の充実 | 自他の健康に留意することで、命の大切さを理解する。また、家庭・地域と連携し、安全教育の充実を図る。 | | |
| 特別活動 | 自主活動の充実による積極性の養成とコミュニケーション能力の育成 | 生徒会行事に意欲的に取り組むことで、主体性や想像力を身につける。 地域活性化の行事やボランティア活動に自ら積極的に参加し活動する態度を養う。 生徒の部活動がより充実したものになるように環境整備に努める。 | | |
| 健康・安全教育 | 保健管理、保健教育の充実 | 健康診断結果等に基づき全体、個別の健康指導の充実を図る。 清掃活動を中心とした環境美化活動を継続する。 生徒の状況に応じた保健学習の実施と保健だより等の情報発信を継続する。 | | |
| | 教育相談、特別支援を要する生徒への指導の充実 | 教育相談会議、スクールカウンセラー等の活用により教育相談活動を充実させる。 学校、家庭、関係機関等との連携を密にし実態に応じた授業改善を推進する。 | | |
| 人権教育 | 生徒の人権感覚の醸成 | 学年等と連携しながら、人権HR学習等を通じて人権を尊重する態度を養う。 | | |
| | 生徒の人権の擁護 | 関係分掌と連携しながら、生徒の人権を守る取り組みを進める。 | | |
| | 教職員研修の充実 | 教職員の世代交代を踏まえ、これまでの人権(同和)教育の成果と課題を引き継ぐ取組を進める。 | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|-----------|---------------|--|----|-------|
| 家庭・地域との連携 | P T A活動の充実と発展 | 各種事業の充実と会員へのP T A活動への積極的な参加を促す草の根啓発活動の取組を行う P T A活動を通して子ども達の心身の健康を育む取組や安全な教育環境を整える取組を推進する | | |
| | 地域連携の推進 | 北桑田小・中・高P T A連携会議を中核にし通学圏内の教育課題を共有化し、その改善に向けた取組を行い、北桑田高校の教育内容の充実、発展に繋がる援助を行う | | |
| | 広報活動の充実と発展 | 広報活動（学校だより・P T Aだより・HP）によって学校情報を発信することで、開かれた学校づくりを推進する。 | | |
| 学校図書館 | 図書館の積極的な活用の推進 | 進路選択・希望進路達成のため、資料の充実・紹介などの支援を進路部と連携して行う。 生徒の知的好奇心をより充足させるため、教科と連携し授業内容にあわせた資料の紹介、学年・関連分掌と連携し特別活動・行事にあわせた資料の紹介、また部活動に関する資料の紹介などを行う。 図書館教育会議や教職員研修の実施により授業利用等図書館の活用に関する意見交流や提案を行う。 | | |
| | 読書の促進 | ニーズにあわせた展示や広報を充実させ読書意欲を喚起する。 朝読実施、図書委員会の活用、学年・教科との連携により学校全体で読書に親しむ雰囲気を作る。 P T Aや小中学校図書館など地域と連携して読書の習慣化、雰囲気作りを行う。 | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|------|-------------------------------------|---|----|-------|
| 農場部 | 効率的・効果的な農場運営に努める。 | <p>各種の研修会や資格取得に励み、技術を高め、完成度の高い作品の創作に努める。</p> <p>安全管理能力を高め、安全な実習環境づくりに努め、整理・整頓にも努める。</p> <p>積極的な情報発信をおこなう。</p> <p>全国森林林業教育研究大会成功に向け、完成度の高い運営を図る。</p> | | |
| | 生徒の希望進路の実現に努める。 | <p>農ク活動や資格取得に活発に取り組ませる。</p> <p>林業教育をとおして課題解決力、進路意識の高揚、国際感覚やプレゼンテーション能力などを養う。</p> <p>論文・面接に必要なタイムリーな情報を農場全体で収集し指導に当たる。</p> <p>生徒の実情に合わせて、他教科・分掌と連絡を密にして、柔軟に対応する。</p> | | |
| 第1学年 | 適切な生活習慣の確立と思いやりの心の涵養 | 正しい姿と態度で授業に臨み、落ち着いた学校生活を送ることができるようにする。学校行事や部活動などへの積極的参加を促し、他の人とのかわりの中から思いやりの心を育み、「人」を大切に育てる。 | | |
| | 学習習慣の確立と学力の伸長を図る | 学習への取組についての指導を強化し、確実に学力を伸ばす。また、家庭や教科担当者等との連携を密にし、支援を要する生徒への早期対応を目指す。 | | |
| 第2学年 | 基本的な生活習慣の確立と学習意欲の喚起を行う。 | <p>遅刻・欠席を無くし、落ち着いた環境で授業を受けられ、服装・挨拶・言葉使いなど、高校2年生としてふさわしい態度を身につけさせる。</p> <p>家庭学習時間の習慣化と、特に国語力・英語力の向上を図る。</p> <p>学校・学年行事等への積極的な参加態度とともに充実感を得られるように指導する。</p> | | |
| | 地域社会と関わる姿勢を持つ生徒を育成し、家庭・地域との連携を強化する。 | <p>地域から学ぶ取組を行い、積極的に活動する態度を育てる。</p> <p>様々な機会を活用し、保護者と生徒の状況交流を行う。</p> | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|------|--------------------------------|--|----|-------|
| 第3学年 | 進路希望の実現 | 進路指導部、保護者との連携を密にし、生徒の現状をしっかりと把握する。 個々に応じた細かな指導を心がけ、希望進路に対応できる確かな学力をつける。 社会に出て通用する学習態度・生活態度を身につける。 | | |
| 寮務部 | 円滑な寮生活を送るための、規則・ルール徹底 | 寮生との対話を充実させ、愛情ある指導を行う。規則厳守させるためのきめ細かな生活指導の徹底に努める。 | | |
| | 安全で安心して生活するための寮生・保護者・各分掌との連携強化 | 寮生活に関する情報の共有化に努め、家庭や舎監相互の連携を取り、問題行動の未然防止に取り組む。 業者（調理委託会社）との連携に努め、定期的な食事内容の検討にも努める。 登下校時の通学安全の確保及び、地域との連携を図る。 | | |
| | 生活環境の維持及び施設の充実 | 施設、設備の点検、改善を行い、環境整備の充実にも努める。 | | |
| 事務部 | 教育環境・条件整備のための積極的、効果的な予算執行 | 施設・設備の点検を行い、安心・安全な教育環境を提供する。 分掌、教科等の教育目標に配慮し、効果的な予算執行を適正に行う。 | | |
| | 学校運営への積極的な参加 | 教務部会議、進路指導部会議及び農場会議に参加して学校運営の情報等を事務部で共有し、また各分掌等と連携を強化して、必要な教育環境・条件の改善と充実を図る。 研修やOJTにより担当事務能力の向上に努め、学校業務の改善に向け事務職員の役割を果たす。 | | |